

参考 1 1

環境モニター・アンケート「湖沼環境について」の調査結果

1. アンケート調査の概要

国民の湖沼環境に対する考え方を把握するため、今年6月に環境モニターに対してアンケート調査を実施した。有効回答数は429件（回答率85.8%）。

環境モニター制度

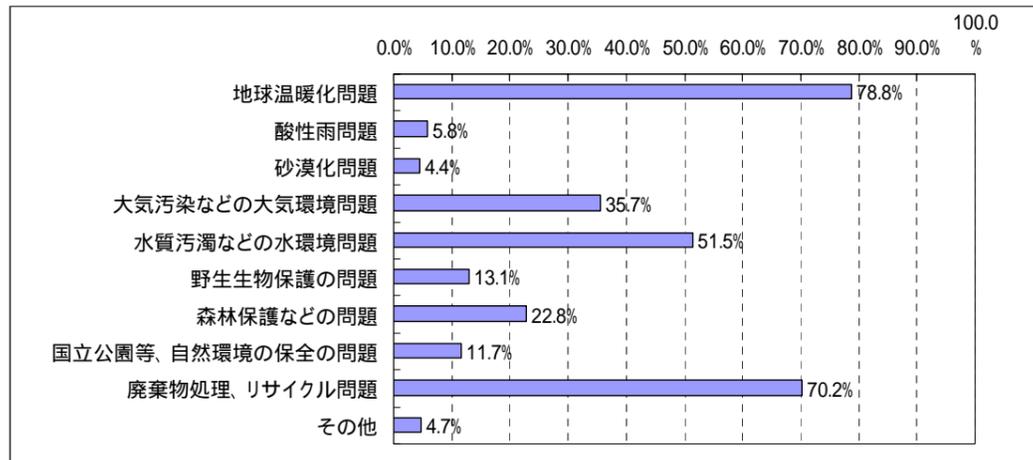
環境問題についての国民の意見、要望を全国的に把握し、環境政策の企画立案等に反映させることを目的としており、地方環境対策調査官事務所からの推薦により都道府県ごとに選考された全国500名の環境モニターに対して、身近で生じている環境問題についての報告やアンケート調査への回答を求めている。

2. 調査結果

各設問の調査結果の概要は以下のとおり。

質問1：環境問題と聞いて思い浮かべるもの（3つ記入）

- ・水環境問題を挙げた人の率は地球温暖化問題、廃棄物・リサイクル問題に次いで3位。
- ・年齢層が上がるほど水質問題を挙げる人の率が高くなる傾向。



質問2：よく訪れる湖沼の有無

- ・約85%が「ある」と回答。
- ・具体的湖沼名は居住地域に影響される。

北海道・東北：支笏湖、洞爺湖、田沢湖、猪苗代湖 / 等

関東・甲信越：中禅寺湖、霞ヶ浦、河口湖、奥多摩湖、諏訪湖 / 等

中部・北越：佐瀧、琵琶湖、浜名湖 / 等

近畿：琵琶湖 / 等

中国・四国：湖山池、宍道湖、児島湖、満濃池 / 等

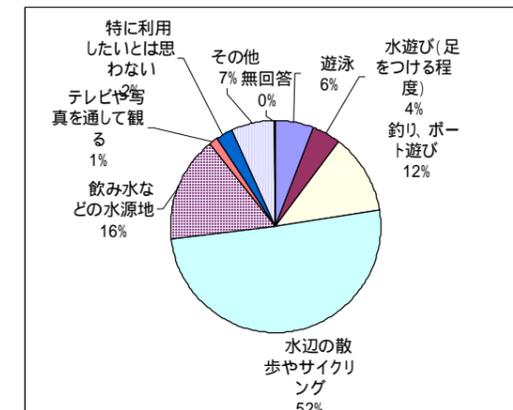
九州：北山湖、江津湖、池田湖 / 等

質問3：最も環境が良かったと思う湖沼

- ・約83%が「ある」と回答。地域を問わず、「摩周湖」といった回答が多くみられた。

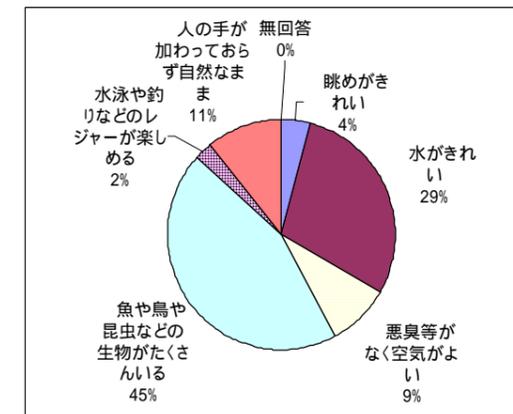
質問4：湖沼の利用方法

- ・散歩・サイクリング、水源地、釣りが上位3項目。
- ・釣りは年代が下がるほど高い回答率、水源地は年代が上がるほど高い回答率になる。



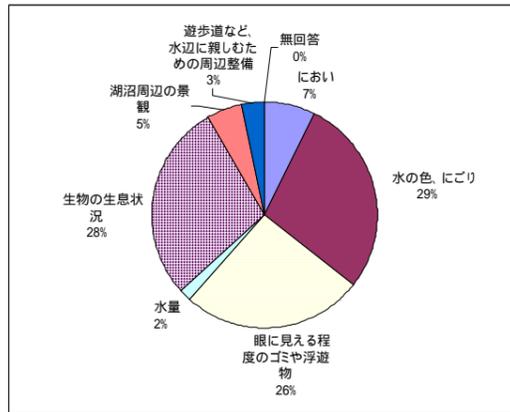
質問5：身近な湖沼に望む環境

- ・「生物がたくさんいる」が1位、「水がきれい」は2位。
- ・「生物がたくさんいる」の回答率は、男性に多くみられる（女性の回答率より10ポイント程度高い）。



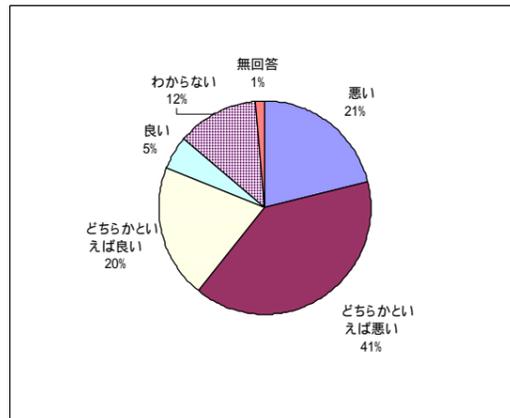
質問6：湖沼の環境について気にかかる要素

- ・「水の色、にごり」「生物の生息状況」「眼に見える程度のごみや浮遊物」がほぼ同率で1～3位。
- ・「ゴミや浮遊物」は年代が下がる程回答率が上がる傾向。



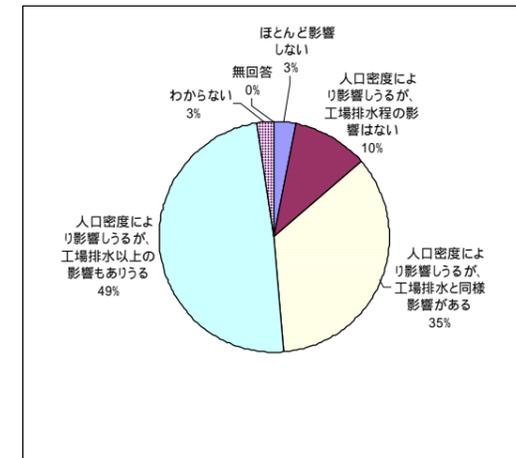
質問7：湖沼の汚濁の程度についての認識

- ・「悪い」「どちらかといえば悪い」が合計6割超。
- ・北海道・東北地方では、「良い」「どちらかといえば良い」と回答した割合が高い。



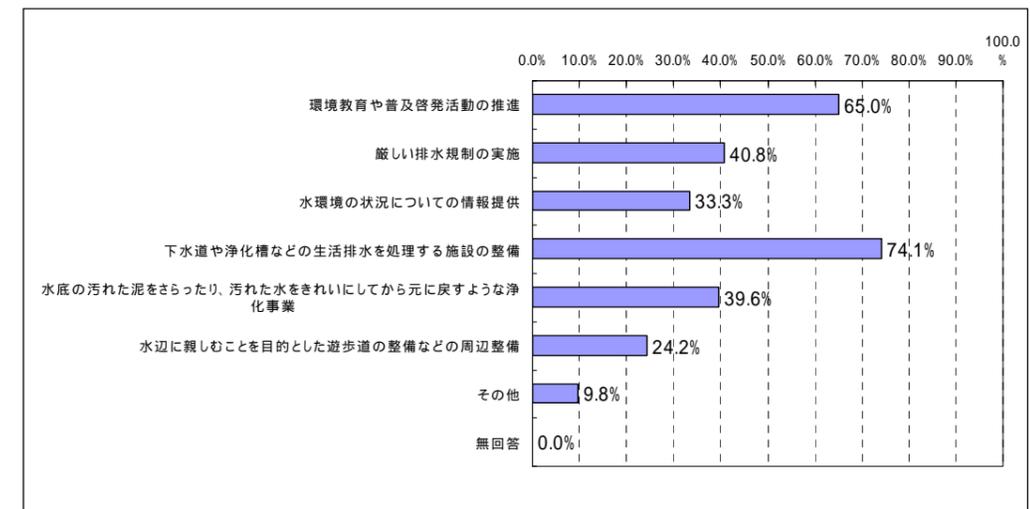
質問8：家庭からの排水による湖沼環境への影響についての認識

- ・「工場排水と同様影響がある」「工場排水以上の影響もありうる」が合計8割超。
- ・北海道・東北地方は、「人口密度により影響しうるが、工場排水程の影響はない」と回答した割合が高い。
- ・年齢別には、60歳以上に「人口密度により影響しうるが、工場排水程の影響はない」と回答した割合が高い。



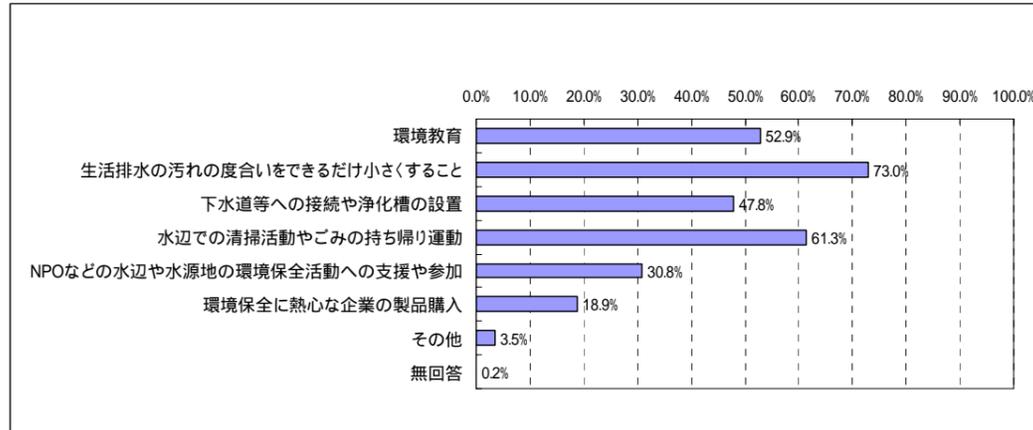
質問9：水環境保全のために必要な行政の取組（3つまで選択）

- ・生活排水処理施設の整備が1位、環境教育・普及啓発が2位。（5割以上の人々が挙げているのはこの2項目のみ）
- ・20歳代は、浄化事業の回答割合が他の世代に比べて高い。



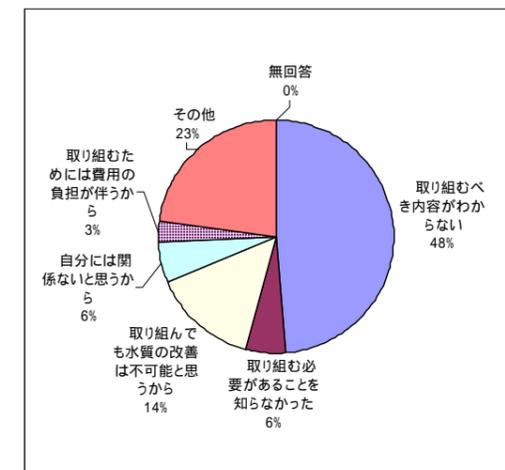
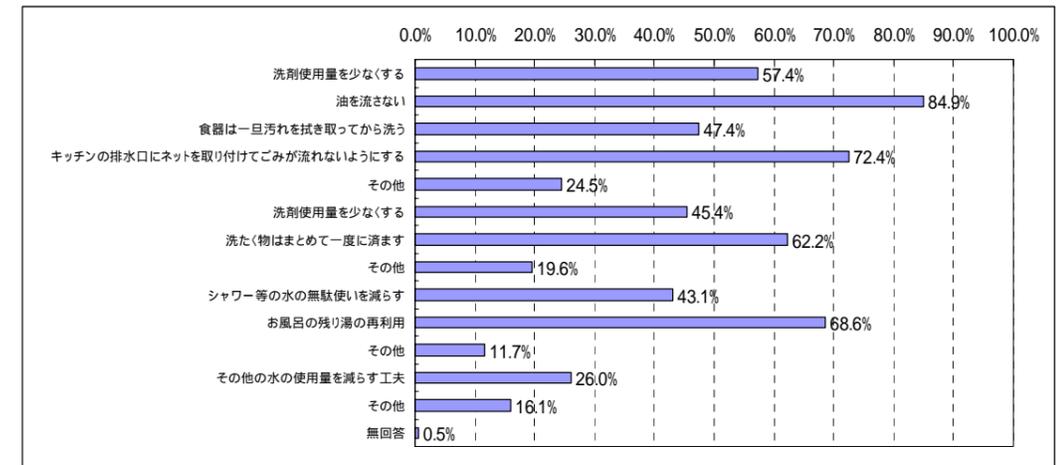
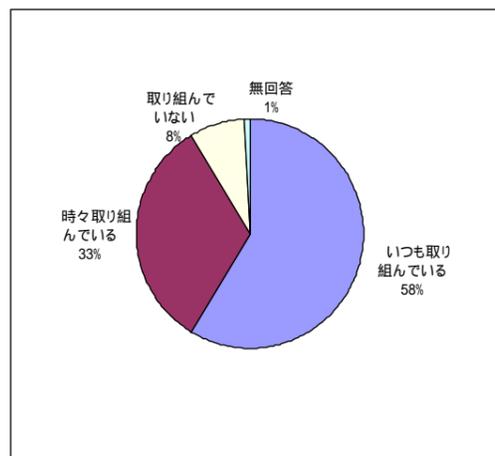
質問 10：水環境保全のために必要な国民の取組（3つまで選択）

- ・「生活排水対策」「清掃活動」「環境教育」が1～3位（5割以上の人々が挙げているのはこの3項目）
- ・「生活排水対策」に関しては、女性のほうが男性よりも10ポイント高い。



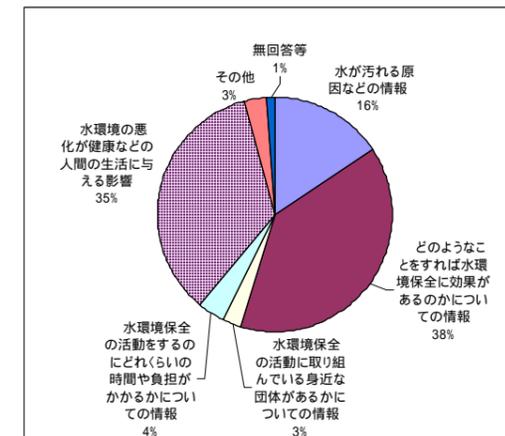
質問 11：水環境保全のための家庭での取組の有無、取組内容、取組まない理由

- ・「いつも取り組んでいる」「時々取り組んでいる」が合計で9割超。
- ・取り組んでいる内容（複数選択可）の上位5項目は次の5つ（5割以上の人々が挙げたのはこの5項目）、「油を流さない」「キッチンの排水口にネットをつける」「お風呂の残り湯の再利用」「洗濯物をまとめて済ます」「洗剤使用量を少なくする」(棒グラフで表示)
- ・取り組まない理由（ひとつだけ選択）としては「取り組むべき内容がわからない」が50%超。（円グラフで表示）



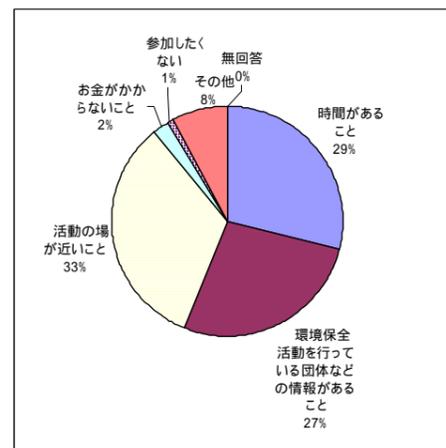
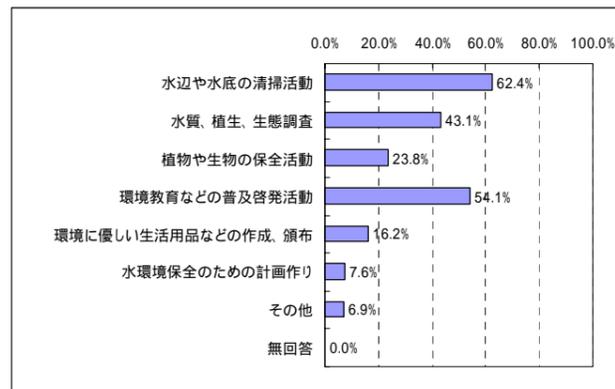
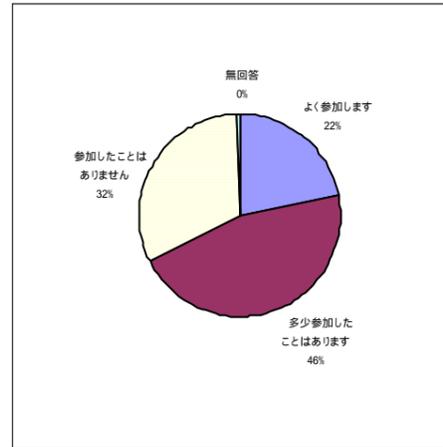
質問 12：水環境保全の取組を行う上で必要な情報

- ・「どのようなことをすれば水環境保全に効果があるか」「水環境の悪化が健康など人間の生活に与える影響」が上位2項目で、2つ合計して7割超。



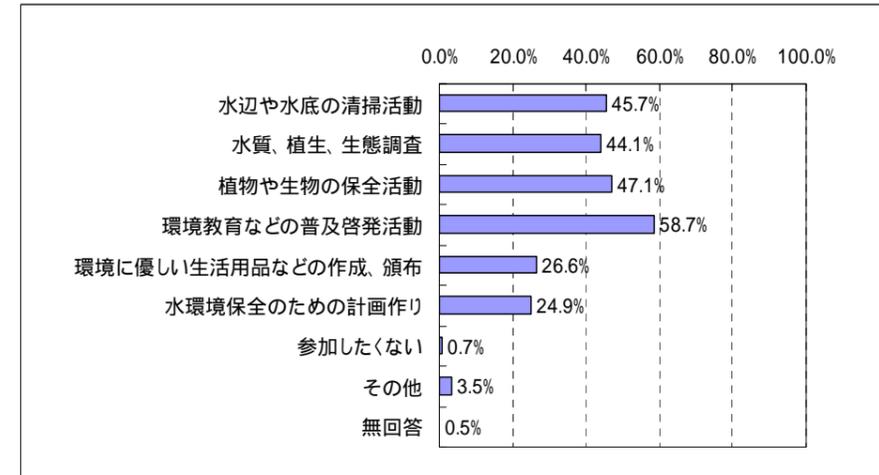
質問 13：ボランティア、地域住民、NPO等の活動への参加の有無、参加内容、参加条件

- ・「よく参加する」「多少参加したことがある」が合計で67%超。
- ・活動の具体的内容（複数回答可）は「清掃活動」「環境教育などの普及啓発活動」が上位2項目（5割以上の方が挙げている）
- ・参加したいと思う条件（一つだけ選択）は「活動の場が近いこと」が1位。「活動を行っている団体などの情報があること」「時間があること」といった回答も多く見られる。



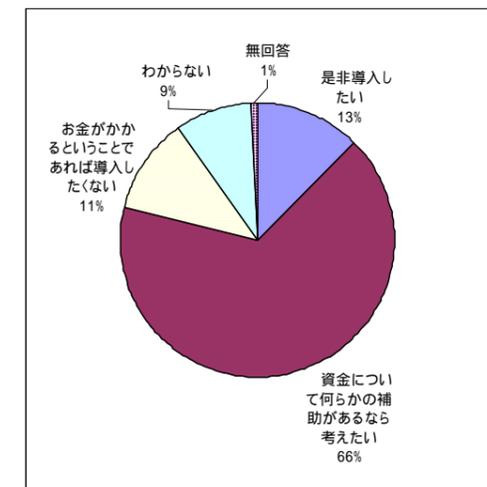
質問 14：今後参加したいと思う水環境保全活動（3つまで）

- ・「環境教育などの普及啓発活動」が1位（唯一5割以上の方が選択）。他に「清掃活動」「水質、植生、生態調査」「植物や生物の保全活動」といった回答も多く見られる。
- ・「植物や生物の保全活動」は年代が上がるほど高い回答率になる。
- ・「環境に優しい生活用品などの作成、頒布」は、女性の回答率が男性の回答率に比べて高くなっている。



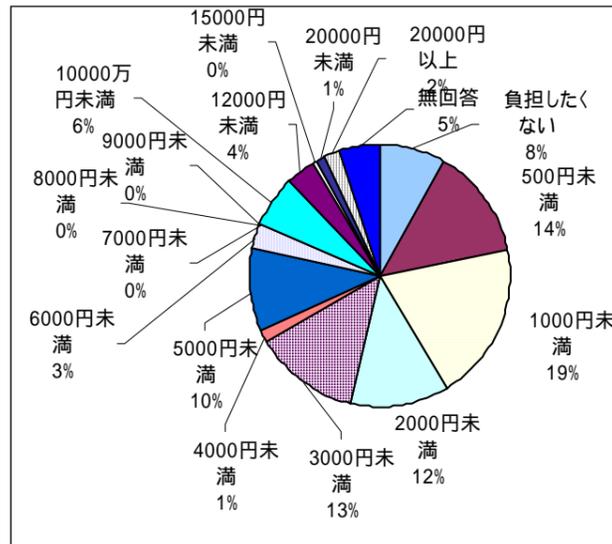
質問 15：環境にやさしい生活をするための特別な設備の導入意向

- ・「何らかの補助があるなら考えたい」が66%。
- ・中国・四国地方は、「何らかの補助があるなら考えたい」と回答した割合が高い。近畿地方は「お金がかかるということであれば導入したくない」と回答した割合が高い。



質問 16：湖沼の対策費用の負担許容額

- ・「1,000円未満」が19.4%でトップ。「3,000円未満」以下の額を選択している人が合計で66%を超える。
- ・平均額は、3,375円である。ただし、念頭においている湖沼が異なる点には留意する必要がある。



3. 調査結果の分析

湖沼等の身近な水の問題に関心を持つ人の割合は高く、関心の対象は水質だけでなく生物等を含めた水環境全体に広がっている。

湖沼の環境改善がはかばかしくないこと、生活排水が原因のひとつとなっていることは国民も認識しており、対策としては生活排水対策、環境教育等の普及啓発を重要と考えている人が多い。

生活排水に対する取組の意識は非常に高くなっているが、一方で取り組むべき内容が分からないという回答も見られ、効果的な取組についての情報提供が重要と考えられる。ボランティア等による水環境保全活動についても、環境教育、清掃活動等を中心に関心が高まっているが、より一層の活動活性化のためには情報提供の整備が重要と考えられる。

(別紙) 「その他」を選択した回答者の具体的回答

質問 4：湖沼に期待する利用方法

「(鳥・魚を含めた)自然環境の観察(18件)」「立地条件、歴史的背景等を踏まえた整備(2件)」「魚を採ったり、水辺で遊んだり、泳いだりする等」「カヌー、キャンプ等」「散策」「周囲が静かで、樹木があり、落ち着く雰囲気になること」「田や畑など農作物への水源」「養殖又は自然として残し、生態系保全に役立てる」「遊泳、飲み水としての利用、釣り」

質問 9：水環境を守るために行政が行うべき取組

「(不法投棄防止等の)廃棄物対策(6件)」「合成洗剤の規制(5件)」「自然再生、自然浄化施設の整備(4件)」「(水質の状況等に関する)情報提供(2件)」「(イベントの実施等の)普及啓発(2件)」「農業用地対策(2件)」「水のリサイクル」「水上バイク等の規制」「湖岸周辺への自動車の乗り入れ規制」「生活排水処理技術の開発」「環境教育」「税制面・経済面でのメリットが生じるような施策」「自動車解体業者から流出する油の対策」「PRTTRの徹底」「ボランティアの登録制度の実施」「湖沼をきれいにしようとしている団体への支援」「水面の草の除去作業」

質問 10：水環境を守るために国民自らが行うべき取組

「合成洗剤の使用の抑制(2件)」「環境負荷の小さい製品の利用・開発を促す(2件)」「(水と親しむ機会を作る等の)環境教育(2件)」「河、湖にごみを捨てない」「無洗米の普及」「水を必要以上に使わない」「公共交通、自転車利用の促進」

質問 11：水環境保全のために家庭で行っている取組

<キッチンで>

「洗剤を使わない、環境負荷の小さい洗剤や石けんを使う(45件)」「米のとぎ汁やゴミ、油分を流しに流さない(とぎ汁の再利用等)(37件)」「水を節約する(6件)」「トイレで薬品を使用しない」「町内会での油の回収」「排水も環境によい浄水器の使用」

<洗たくで>

「洗剤を使わない、環境負荷の小さい洗剤や石けんを使う(55件)」「洗濯の回数や水の使用量を節約する(15件)」「大きな汚れを落としてから洗濯する(3件)」

<お風呂で>

「シャンプーや入浴剤、掃除の際の合成洗剤等を使わない(26件)」「水の使用量を節約する(11件)」「残り湯を再利用する(2件)」

<その他>

「雨水や排水の再利用(35件)」「トイレ・歯磨きなどの節水(14件)」「近くの湧水や小川を利用(3件)」

質問 14：今後関わってみたい水環境保全活動

「(水辺の花など)美しい風景の造成(2件)」「家庭でできることを実践する」「企業に水環境に優しい商品の開発を促す」「企業とコラボレートし、商品開発に携わる」「親子で水環境について考えることができる活動」「工場排水の実態調査」「環境に優しいといわれる行為・商品の効果に関する調査」

平成16年度環境モニター・アンケート

(湖沼環境について)

質 問 票

以下の質問への回答に先立ち、お名前やお住まい等につきましても、回答用紙にご記入ください。

質問1 あなたが環境問題と聞いて思い浮かべるものを3つ記入してください。

選択肢

- 地球温暖化問題
- 酸性雨問題
- 砂漠化問題
- 大気汚染などの大気環境問題
- 水質汚濁などの水環境問題
- 野生生物保護の問題
- 森林保護などの問題
- 国立公園等、自然環境の保全の問題
- 廃棄物処理、リサイクル問題
- その他()

質問2 あなたがよく訪れる湖や沼、池(湖沼)はありますか?ある場合はその名前を書いて下さい。複数ある場合は、一番よく訪れる場所を挙げて下さい。

()

質問3 あなたが訪れたことのある湖沼の中で最も環境が良かったと思う湖沼を一つ挙げて下さい。

()

【以下、一般的な湖沼をイメージして回答してください。】

質問4 あなたは湖沼を利用することを考えた場合、どのような利用方法を期待しますか?

最も当てはまるものを1つ選んでください。

選択肢

- 遊泳
- 水遊び(足をつける程度)
- 釣り、ボート遊び
- 水辺の散歩やサイクリング
- 飲み水などの水源地
- テレビや写真を通して観る
- 特に利用したいとは思わない
- その他()

質問5 あなたは、地域づくりの中で身近な湖沼の環境が最低限どのような状態であってほしいと思いますか?最も当てはまるものを一つ選んでください。

選択肢

- 眺めがきれい
- 水がきれい
- 悪臭等がなく空気がよい
- 魚や鳥や昆虫などの生物がたくさんいる
- 水泳や釣りなどのレジャーが楽しめる
- 人の手が加わっておらず自然のまま

質問6 湖沼の環境について特に気にかかる要素はなんでしょうか?最も当てはまるものを一つ選んでください。

選択肢

- におい
- 水の色、にごり
- 目に見える程度のゴミや浮遊物
- 水量
- 生物の生息状況
- 湖沼周辺の景観
- 遊歩道など、水辺に親しむための周辺整備

質問7 あなたは、湖沼の汚濁の程度についてはどのように考えていますか?最も当てはまるものを一つ選んでください。また、回答の際にイメージされた湖沼があればその名前を書いてください。

選択肢

- 悪い
- どちらかといえば悪い
- どちらかといえば良い
- 良い
- わからない

湖沼の名前()

質問8 家庭からの排水による湖沼の環境への影響についての認識に最も近いものを選んでください。

選択肢

- ほとんど影響しない
- 人口密度により影響しうるが、工場排水程の影響はない。
- 人口密度により影響しうるが、工場排水と同様影響がある。
- 人口密度により影響しうるが、工場排水以上の影響もありうる。
- わからない

質問9 湖沼をはじめとした水環境を守り、より良くするために行政としてどのような取組をするべきでしょうか？(複数選択可、最大3つまで)

選択肢

- 環境教育や普及啓発活動の推進
- 厳しい排水規制の実施
- 水環境の状況についての情報提供
- 下水道や浄化槽などの生活排水を処理する施設の整備
- 水底の汚れた泥をさらったり、汚れた水をきれいにしてから元に戻すような浄化事業
- 水辺に親しむことを目的とした遊歩道の整備などの周辺整備
- その他()

質問10 湖沼をはじめとした水環境を守り、より良くするために国民自らが取り組むべきこととは何でしょうか？(複数選択可、最大3つまで)

選択肢

- 環境教育
- 生活排水の汚れの度合いをできるだけ小さくすること
- 下水道等への接続や浄化槽の設置
- 水辺での清掃活動やごみの持ち帰り運動
- NPOなどの水辺や水源地の環境保全活動への支援や参加
- 環境保全に熱心な企業の製品購入

その他()

質問11 あなた自身は湖沼をはじめとした水環境保全のために家庭で何かに取り組んでいますか？

選択肢

- いつも取り組んでいる
- 時々取り組んでいる
- 取り組んでいない

質問11-2 質問11で を選んだ方におたずねします。湖沼をはじめとした水環境保全のためにあなたが家庭で取り組んでいることはどのようなものですか？(複数選択可)

選択肢

- <キッチンで>
 - 洗剤使用量を少なくする
 - 油を流さない
 - 食器は一旦汚れを拭き取ってから洗う
 - キッチンの排水口にネットを取り付けてごみが流れないようにする
 - その他()
- <洗たくで>
 - 洗剤使用量を少なくする
 - 洗たく物はまとめて一度に済ます
 - その他()
- <お風呂で>
 - シャワー等の水の無駄使いを減らす
 - お風呂の残り湯の再利用
 - その他()
- <その他>
 - その他の水の使用量を減らす工夫
 - その他()

質問11-3 質問11で を選んだ方におたずねします。あなたが湖沼をはじめとした水環境保全のために取り組まないのはなぜですか？その理由として最も当てはまるものを一つ選んでください。

選択肢

- 取り組むべき内容が分からない

取り組む必要があることを知らなかった
取り組んでも水質の改善は不可能と思うから
自分には関係ないと思うから
取り組むためには費用の負担が伴うから
その他（ ）

質問 12 あなたが湖沼をはじめとした水環境保全の取組を行う上で、どのような情報が必要
だと思いますか？最も当てはまるものを一つ選んでください。

選択肢

水が汚れる原因などの情報
どのようなことをすれば水環境保全に効果があるのかについての情報
水環境保全の活動に取り組んでいる身近な団体があるかについての情報
水環境保全の活動をするのにどれくらいの時間や負担がかかるかについての情報
水環境の悪化が健康などの人間の生活に与える影響
その他（ ）

質問 13 ボランティア、地域住民、NPO 等による水環境を保全する活動に参加したことが
ありますか？

選択肢

よく参加します
多少参加したことはあります
参加したことはありません

質問 13 - 2 質問 13 で を選んだ方におたずねします。主にどのような種類の活動でし
たか？（複数選択可）

選択肢

水辺や水底の清掃活動
水質、植生、生態調査
植物や生物の保全活動
環境教育などの普及啓発活動
環境に優しい生活用品などの作成、頒布
水環境保全のための計画作り
その他（ ）

質問 13 - 3 質問 13 で を選んだ方におたずねします。以下の条件があえば、環境保全活
動に参加したいというものがあれば選んで下さい。最も当てはまるものを一つ
選んでください。

選択肢

時間があること
環境保全活動を行っている団体などの情報があること
活動の場が近いこと
お金がかからないこと
参加したくない
その他（ ）

質問 14 あなたは今後、ボランティア、地域住民、NPO 等による水環境を保全する活動に
ついて、どのような活動に参加したいと思いますか？（複数選択可、最大3つまで）

選択肢

水辺や水底の清掃活動
水質、植生、生態調査
植物や生物の保全活動
環境教育などの普及啓発活動
環境に優しい生活用品などの作成、頒布
水環境保全のための計画作り
参加したくない
その他（ ）

質問 15 お金をかけて特別な設備を導入することで環境にやさしい生活をするという例が
あります（例：太陽光発電、雨水の再利用システム）。このような特別な設備を導入
したいと考えますか？最も当てはまるものを一つ選んでください。

選択肢

是非導入したい
資金について何らかの補助があるなら考えたい
お金がかかるということであれば導入したくない
わからない

質問 16 なるべく身近な湖沼を一つ思い浮かべてください。その湖沼について対策費用を負
担する場合、一年あたりどのくらいの額なら負担してもいいと考えられますか？
（参考：全国平均の下水道料金 約 2,442 円 / 月（= 29,304 円 / 年））

湖沼の名前（ ）

選択肢

負担したくない
500 円未満

1000 円未満
2000 円未満
3000 円未満
4000 円未満
5000 円未満
6000 円未満
7000 円未満
8000 円未満
9000 円未満
10000 円未満
12000 円未満
15000 円未満
20000 円未満
20000 円以上（具体的な金額： 円）

参考12 指定湖沼における長期ビジョンの策定例

1. 琵琶湖マザーレイク 2.1 計画
～ 琵琶湖総合保全整備計画～
(平成12年3月、滋賀県)

計画の基本

県民・事業者等のみなさんの取り組みと、行政の各種対策は車の両輪の関係です。どちらが欠けても計画という車は前へと進みません。共に協力し合って、琵琶湖と人との共生のための壮大な実験に取り組みましょう。

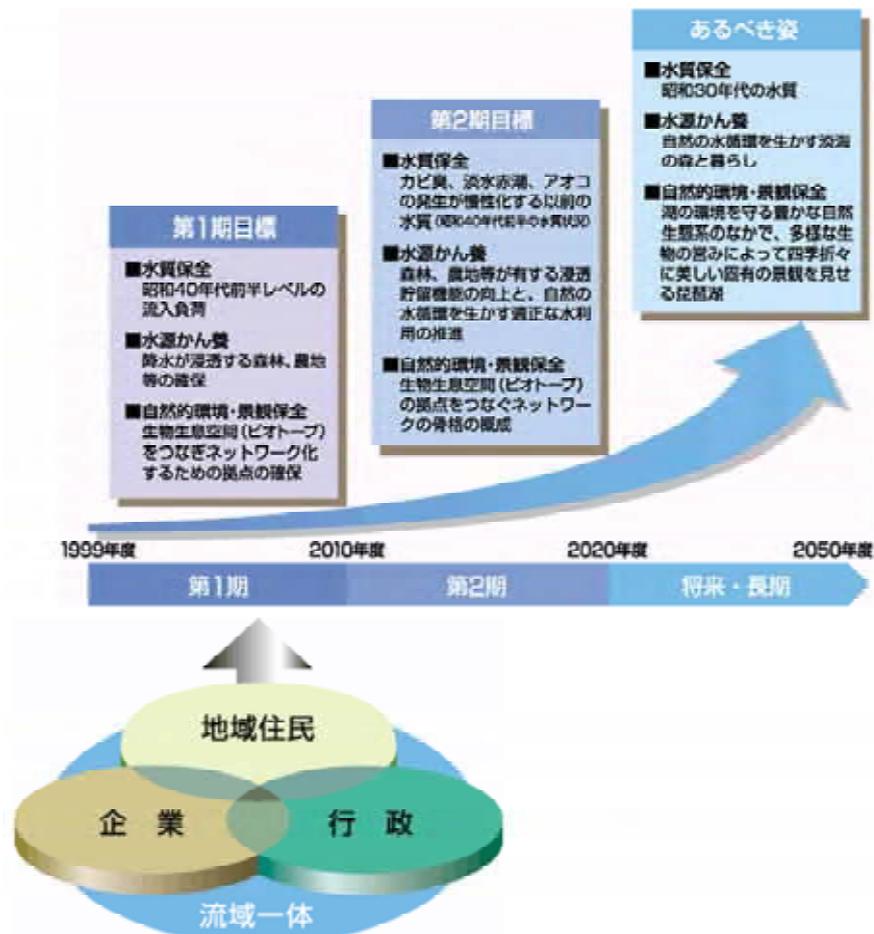
計画対象区域
滋賀県全域

計画期間

1999年度から2020年度
第1期：12年間（1999年度～2010年度）
第2期：10年間（2011年度～2020年度）

計画目標

おおむね50年後（2050年頃）の琵琶湖のあるべき姿を念頭に20年後（2020年）の琵琶湖を次世代に継承する姿として設定し、第1期、第2期においてそれぞれの3つの目標を不可分のものとして取り組みます。



マザーレイク計画 2.1 ガイドブック(抜粋)

2. 手賀沼水循環回復行動計画 (平成15年7月、千葉県)

2. 行動計画の基本的事項(抜粋)

〔行動計画の位置付け〕

本計画は、「第4期手賀沼に係る湖沼水質保全計画」に記載する“残された自然環境を生かし、水量の確保、水生生物や水辺の保全という一体的な水環境の回復を図るための「健全な水環境の回復行動計画」”として策定します。

〔行動計画の期間〕

平成15年度(2003年度)から平成22年度(2010年度)を中期的な目標の期間として設定し、実現可能な取組を順次実行していきます。

〔行動計画の目標〕

かつて、手賀沼とその流域では、豊富で清らかな水が流れ、多様な生物が生息していました。また、豊富で清らかな水をたたえる手賀沼は、農業を支え、豊かな漁場を提供するとともに、美しい心とむ憩いの場として、人々はその恵みを受けて生活していました。

この計画では、長期的な目標として、かつて手賀沼とその流域にあった美しく豊かな環境を再生するとともに、環境基準の達成を目指すこととします。そして、中期的な目標としては、次の2つの目標を掲げます。

- (目標1) 人々が手賀沼の水辺で遊ぶことのできる水質の実現を目指します
手賀沼の水質を改善し、人々が水辺で遊べる水質の実現を目指します
改善の目標:

COD: 8 mg/l 程度(日常生活で不快感を生じない)

透明度: 0.5m 程度(水辺で沼底が見える)

- (目標2) 多様な生物の生育・生息環境の再生を目指します

多様な生物が生育・生息できるような環境を保全・再生し、かつて手賀沼に生育していたガシャモク等の沈水・浮葉植物や、個体数が激減しているキンクロハジロ等の水鳥等、多様な生物の復活を目指します。

3 . 印旛沼流域水循環健全化計画 (平成16年2月、千葉県)

第3章 水循環健全化目標(抜粋)

[水循環健全4目標]

印旛沼を再び恵みの沼とするため、次の4つの目標を設定します。2030年(平成42年、30年後)をめどに、この目標を達成していきます。

目 標 「恵の沼を再び」2030年に 達成

- 目標1 遊び、泳げる印旛沼・流域
- 目標2 人が集い、人と共生する印旛沼・流域
- 目標3 ふるさとの生き物はぐくむ印旛沼・流域
- 目標4 大雨でも安心できる印旛沼・流域

[目標達成評価の視点]

4つの目標の達成を、関連する複数の視点で評価します。モニタリング調査(第5章)でこれらの状況を確認し、目標達成状況を評価します。

	2030年度 長期構想	2010年度 中期構想 緊急行動計画
水質(COD)	5 mg/L	8 mg/L
水質(清澄性)	沼全域で沼底が見える	岸から沼底が見える
アオコ発生	アオコの発生をなくす	アオコの発生を少なくする
湧水	湧水量の増加 湧水水質の改善	湧水量の増加
利用者数	利用者数の増加	利用者数の増加
水生植物	印旛沼の沈水 植物群落の再生	印旛沼の浮葉 植物群落の再生
在来生物種	かつていた 生物種の復活	在来生物種の保全
水害安全度	30年に1度の大雨でも安全	10年に1度の大雨でも安全

参考13 都道府県や地域住民等による湖沼環境保全の取組事例について

湖沼法の枠組み以外の湖沼環境保全の取組事例を紹介する。都道府県独自の取組、地域住民やNPO・NGO等による湖沼環境を保全する取組事例も増えている。

1 都道府県独自の取組事例について

猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画（福島県）

豊稔池水環境保全行動計画（香川県）

奥日光清流清湖保全計画（栃木県）

2 地域住民等による取組事例について

<取組主体>

地域住民、NPO・NGO、行政も加わった協議会など様々な形態がある。（以下、特に区別せずに整理。）

<活動の概要>

「水辺清掃、水質浄化活動」、「水質調査、水辺調査等」、「普及啓発活動」などが具体の活動として件数が多い。

地域住民等による取組事例について

分 類	具体的な取組
計画企画・策定等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水質浄化対策協議会の構成団体として企画に参加 ・ 市町村等と流域フォーラム開催 ・ 湖上観察や流入水路水質調査を行い、住民による水質レスキュー行動計画を策定
普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湖上セミナー ・ 水質浄化キャンペーン ・ 水質浄化ポスター・標語の募集、展示 ・ 広報誌・広報素材の作成・配布 ・ 家庭排水対策協議会の運営 ・ 水環境保全イベントの実施 ・ 水質浄化活動功労者の表彰 ・ 環境教育、暮らしのエコチェック ・ 棚田式の植物浄化施設への植栽講座事業、住民参加の学習会 ・ パネル展示、掲示板の設置等の普及啓発事業 ・ 生活排水浄化実践活動 ・ モデル地区における緩行性肥料の使用
水質調査、水辺調査等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水質監視員制度の運用 ・ 流域における水質監視等 ・ 住民参加による水質調査 ・ 植物・水生生物調査 ・ 自然観察 ・ 住民参加による身近な川一斉調査
水辺清掃・水質浄化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湖畔の清掃・不法投棄ゴミの清掃 ・ 水草除去 ・ いかだを浮かべ野菜を栽培することによる浄化実験の実施 ・ ヨシ・アシの植栽 ・ 在来水草復活、水質浄化力測定
廃油回収等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食用廃油回収 ・ 台所三角コーナー・ストレーナー設置推進
施設の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビオパークの受託管理等 ・ 棚田式の植物浄化施設の維持管理
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水質浄化に関する調査研究を行っている団体等に対する助成 ・ 流域山林での植林等 ・ 里山の保全 ・ 浮き漁礁の設置

都道府県独自の取組事例について

猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画（平成14年3月）

- (1) 策定主体：福島県（計画の具体的な推進方法及び実施方法は、今後、関係機関・団体等と協議の上定める）
- (2) 目的：猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境悪化を未然に防止する観点等で策定された「猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例」に基づく当該湖沼及び流域の水環境の保全の推進に関する基本的な計画。
- (3) 計画期間：平成14年度から平成22年度（9年間）
- (4) 保全目標：
基本的目標：次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖裏磐梯
水質保全目標
1) 水質目標値：COD、全窒素、全磷
2) 身近な水質指標：猪苗代湖透明度（H12：7.1m H22：10m以上）
裏磐梯湖沼透明度（H12：4.4m H22：5m以上）
水辺環境目標
1) 水辺の自然目標：湖沼の景観や周辺の優れた山岳景観と調和した水辺環境の保全に努める。ノ渡り鳥、ハコ、ミスズゴケ、ヨシ、アザ、イヅミバク等の動植物が生息する豊かな自然環境を備えた水辺の整備や保全に努める。
2) 水辺の親水性目標：当該湖沼の自然や湖水に、水面利用を通して、陸からでなく湖面からもふれることのでき、誰にでも親しめる水辺の創造に努める。ノ住民参加による個性ある水文化の継承や創造に努める。
流域の水循環の形成目標：
1) 水源かん養機能の維持向上のため、湖沼を取り巻く豊かな森林の保全に努める。
2) 水環境保全に必要な水の機能が損なわれず、自然の水循環のバランスが十分に維持されるよう良好な水循環機能の確保に努める。
- (5) 施策体系：
・自然汚濁・面源汚濁の低減（農地や市街地からの汚濁負荷低減等）
・人為汚濁の低減（窒素除去型浄化槽の設置促進、キャンプ場の排水処理対策等）
・水辺環境の保全・整備推進（水辺の動植物の生息環境の保護・育成等）
・県民参加による水環境活動の活性化（上流域と下流域の協力連携等）
・水環境保全思想の啓発推進、
地域交流・水文化の形成（水辺利用者に対する環境教育の推進等）
・水環境保全に関する調査研究等の充実
- (6) 推進管理体制
福島県水環境保全対策連絡調整会議
猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
国、県、関係市町村、事業者、関係団体、地域住民等で構成。
- (7) 効果の検証
水質調査
各種施策の進捗状況調査
水環境満足度指数調査：県民意識調査（アンケート調査）を実施し指数を算定。
項目：飲み水のおいしさ、湖沼などの水のきれいさ、水道などの整備状況等11項目
目標：H7（現況値）：54.0 H17（目標値）：66.4 H22（目標値）80.0

豊稔池水環境保全行動計画（平成12年8月）

(1) 策定主体：香川県、豊年池みずすまし運動推進会議

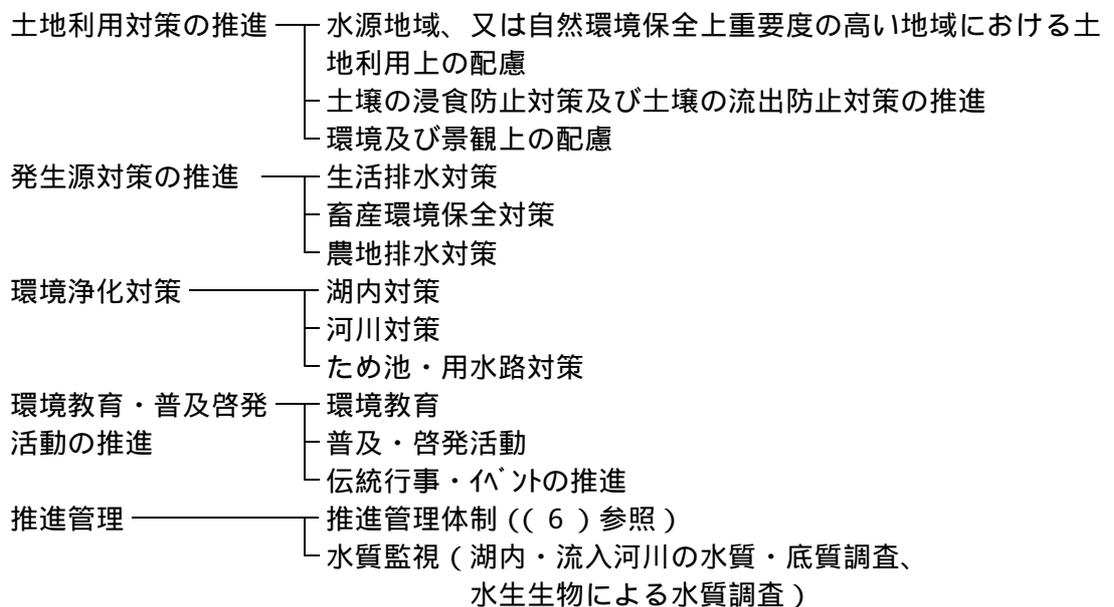
(2) 目的：豊稔池及びその集水域の水環境を保全するため、地域住民、各種団体、行政等が一体となって、地域特性に応じた新たな水環境改善技術の実用化の検討を含めた総合的な水環境保全施策を実施。

(3) 計画期間：平成12年度から平成15年度（4年間）

(4) 保全目標：望ましい水環境像：水と緑の文化をはぐくむ豊稔池

保全目標：豊かな水辺林のみどりや、紅葉を映す湖面には、カイツブリやバンなどが見られ、トンボ類の良好な生息地となっている。
豊かな水量を確保するとともに、水質は湖沼環境基準B類型及びC類型まで改善する。

(5) 施策体系：



(6) 推進管理体制

香川県水環境保全対策連絡調整会議（県5部15課）

豊稔池みずすまし運動推進会議

地元自治会、地区衛生組合、豊稔土地改良区、大野原町、香川県で構成する推進組織。
構成員のそれぞれが実施する事業や取組についての総合調整を行う。

(7) 効果の検証

県の関係機関、大野原町、自治会において、それぞれの施策や取組を実施した後、その効果を検証するため、水質測定を実施する。

湖内・流入河川の水質調査：香川県（年4回）、大野原町（年1回）

湖内の底質調査：香川県（年1回）

水生生物による水質調査：大野原中学校の生徒が豊稔池上流の^{さくた}柞田川で「水生生物による水質調査」を実施し町、県が公表。

簡易水質測定による常時監視：豊稔土地改良区が「見た目アオコ指標」（国環研）によるアオコ観察及び透視度（又は透明度）を測定。

奥日光清流清湖保全計画（平成10年3月）

- (1) 策定主体：奥日光清流清湖保全協議会
- (2) 目的：奥日光水域の良好な水質を将来にわたって維持していくため、水質目標の達成に向かって、国、県、市、関係団体をはじめ事業者や住民が一体となって取り組むための基本方針及び具体的に講ずべき施策。関係機関及び関係者の幅広い合意と協力の下で奥日光（湯の湖、湯川、中禅寺湖）の水質保全対策を推進。
- (3) 計画期間：平成10年度から平成14年度（5年間）
- (4) 保全目標：水質目標値（COD、全窒素、全磷、透明度）
- (5) 施策体系：水質保全に資する事業（下水道の整備、河川直接浄化、水草の除去等）
水質の保全のための規制その他の措置（事業場・生活排水・面源負荷対策等）
その他水質保全のための措置（事業者等に対する助成）
計画の推進（推進体制、計画の進行管理）
- (6) 推進管理体制
奥日光清流清湖保全協議会（県、日光市）
奥日光清流清湖保全推進委員（14名）
1) 目的：奥日光の水質保全を推進するため、家庭でできる発生源対策の普及促進、観光客・釣り人に対する指導及び奥日光流域内の水質汚濁の監視などを行う。
2) 推進員所属団体：旅館協同組合、寮友会、内水面漁業組合連合、漁業協同組合、温泉飲食物産店組合、ペンション民宿組合、遊漁船組合、旅館民宿組合等14団体

その他の都道府県独自の取組事例

名 称	作 成 主 体	実 施 年	対 象 湖 沼
網走湖の環境保全に係る基本方針	網走湖環境保全対策推進協議会	昭和60年度～	網走湖(北海道)
網走川水系網走川水環境改善緊急行動計画	網走湖環境保全対策推進協議会(清流ルネサンス網走川地域協議会)	現在作成中	網走湖(北海道)
十和田湖水質・生態系改善行動指針	青森県・秋田県	平成13年度～	十和田湖(青森県・秋田県)
牛久沼水質保全計画	茨城県	平成14年度～ 平成18年度	牛久沼(茨城県)
涸沼水質保全計画	茨城県	平成12年度～ 平成16年度	涸沼(茨城県)
鳥屋野潟水環境改善計画	鳥屋野潟総合整備推進行政連絡会議	平成12年度～ 平成16年度	鳥屋野潟(新潟県)
佐鳴湖清流ルネサンス 水環境改善緊急行動計画	佐鳴湖清流ルネサンス 佐鳴湖地域協議会	平成16年～	佐鳴湖(静岡県)
神西湖水質管理計画	島根県・出雲市・湖陵町	平成5年度～ 平成15年度	神西湖(島根県)
魚切ダム貯水池水質改善計画	魚切ダム貯水池水質保全対策協議会	平成14年度～	魚切ダム貯水池(広島県)
第3期池田湖水質環境管理計画	鹿児島県	平成13年度～ 平成22年度	池田湖(鹿児島県)